



## 実りの秋に

校長 前田 元

秋は来るのだろうか、そんな気持ちを抱かせるほどの暑さが続いていましたが、すっかり秋も深まり、朝晩には霜が降りるようになりました。晩秋の11月です。

11月8日の運動会に向けて、各学年の練習が熱を帯びています。こればかりは、暑い夏に負けないほどです。子どもたちも全力で取り組んでいる様子が、その表情から伝わってきます。子どもたちがひたむきに取り組む姿は、いつ見てもいいものです。そんな姿を見るたびに、この仕事を選んでよかったなと思います。

秋になると、カシやナラ、ブナといった木がドングリをたくさん落とします。1本の木から、いくつ落とすのだろうかと思うほど、たくさん落とします。その割には、ブナの木ばかり、ナラの木ばかりとはなりません。どうしてでしょう？

実は、ドングリは発芽するための条件が整わないと芽を出さなくなってしまうのです。その条件とは、適度な水分があること、1週間くらい水分をもらえないと、もう駄目なんだそうです。次の条件は、冬の寒さを乗り越えること、冬を経て、春の温かさがやってこないで発芽しないそうです。最後の条件は適度な日の光と空気です。

このように考えると、たくさん実をつけて地面に落とすのではなくて、うまく発芽できるようにドングリそのものを工夫した形で進化したほうがカシの木やブナの木のためになりそうな気がします。実際に、昔はドングリの種としての在り方は効率的ではないと考えられていたようです。だからたくさんドングリを落とす必要があるのだと。

最近の研究では、そうではないことがわかってきました。リスやネズミなどを利用している要素が大きいの説があるのです。リスやネズミは冬に備えて、集めたドングリを土の中に埋める習性があります。しかし、せっかく埋めたドングリたちを、一定の割合で忘れてしまうのだそうです。そのリスたちに忘れられたドングリの発芽率がとても高いというのです。確かに、リスたちに土の中に埋めてもらって冬を越すことができれば、発芽条件のいくつかをクリアすることができます。もちろん、食べられてしまうことも考えなければいけません。

このように考えると、自分で動くことができない樹木が、実に考え抜かれたやり方で種を保存しているのだと感じます。

さて、運動会です。思い通りの結果を出してみんなが満足できれば最高です。しかし、失敗してしまうこともあるかもしれません。思い通りにならないこともあるかもしれません。それでも、そこまでの努力は本物ですし、全員がひたむきに取り組んできたことは事実です。そして、その事実が子どもたちを成長させていくことも間違いありません。

冬の寒さと春の温かさがドングリの発芽に必要なように、ご家庭では、ぜひ、子どもたちのこれまでの取組を春の陽だまりのように温かく励ましていただけたら幸いです。

私には、我が家で冬が続いています。まだ私の発芽する時期は遠いようです。私にもいつか春が来て、芽が出せることを信じて耐えていこうと思います。

| 令和7年度 西東京市立けやき小学校 学校評価報告表                                                                                                                                                                                                                                         |                                               |                                                                                    |                   |                  |                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育目標                                                                                                                                                                                                                                                            |                                               | ◎学び合う子(重点目標)<br>○つながり、支えあう子<br>○健康でたくましい子                                          |                   |                  |                                                                                                                                                                                                                |
| 確かな一歩                                                                                                                                                                                                                                                             |                                               |                                                                                    |                   |                  |                                                                                                                                                                                                                |
| 目指す学校像(ビジョン)                                                                                                                                                                                                                                                      |                                               |                                                                                    |                   |                  |                                                                                                                                                                                                                |
| 【目指す学校像】・「誠実に」「着実に」「確実に」児童の成長を促す教育を進める学校を目指す。～明日も通いたくなる学校を目指して～<br>◎「学び合う子」 互いの思いや考えを大切にし、学びを楽しむ子<br>【目指す児童像】○「つながり、支えあう子」 積極的に仲間や集団と関わり、共に成長する子<br>○「健康でたくましい子」 心身の成長と健康に興味関心をもち、毎日の学校生活に前向きな意欲のある子<br>【目指す教師像】・充実した授業づくりを第一として学びあう教師 ・「あったか先生」として地域・保護者に信頼される教師 |                                               |                                                                                    |                   |                  |                                                                                                                                                                                                                |
| 前年度までの学校経営上の成果と課題                                                                                                                                                                                                                                                 |                                               |                                                                                    |                   |                  |                                                                                                                                                                                                                |
| (成果)コミュニティ・スクール、特別支援教室拠点校として、児童の特性や実態に応じ、地域との連携を生かした教育を進めてきた。<br>(課題)DX化をとり入れながら、保護者及び地域に教育活動を発信し、理解・啓発を更に図ること。                                                                                                                                                   |                                               |                                                                                    |                   |                  |                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                                                                                                                                                                                                   | 中期経営目標                                        | 具体的方策                                                                              | 1回評価              |                  | 課題と対策                                                                                                                                                                                                          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                               |                                                                                    | 努力目標              | 成果目標             |                                                                                                                                                                                                                |
| 学<br>び<br>に<br>向<br>か<br>う<br>力<br>の<br>育<br>成                                                                                                                                                                                                                    | ・自らすんで学習し、課題解決に向けて粘り強く取り組む児童を育成する。            | ・授業におけるユニバーサル・デザイン化を図り、児童にとってわかりやすい授業を実施する。                                        | 肯定的<br>評価<br>100% | 肯定的<br>評価<br>96% | 「けやきモデル」に基づき、児童が安心して学習に取り組めるユニバーサル・デザイン化した環境、授業づくりを一人一人の教員が意識を高くして行っている。また、校内授業研究の積み重ねを通して、子どもたちの思考を見通した教材、資料を準備することで、学習意欲が高まる授業展開に努めている。日常の子どもたちの変容や授業参観の場を通して、成果を示していけるよう引き続き研鑽を積んでいく。                       |
|                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                               | ・学習でデジタル教科書やタブレット等のICT機器を適切に活用する。                                                  | 95%               | 89%              | タブレットの活用は、教員、児童共に年々習熟が深まり、活用の場面が広がっている。一方で、学習目的以外のルールを逸脱した使い方が、学校や家庭で見られたり聞かれたりすることもある。慣れてきたことによる気の緩みがトラブルにつながることを防ぐため、適正な使用に関する予防的な指導を家庭とも連携して行っていく。                                                          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                               | ・児童が読書に親しんだり、読書習慣を身に付けたりできるよう指導を工夫する。                                              | 67%               | 56%              | 年2回の読書週間における図書委員会によるお楽しみ企画や、「けやき応援団」による読み聞かせ、多読賞の表彰等を推進しているが、それらが読書の習慣につながっているという、教員、保護者の意識は高くない。教員も共に本への関心を示し児童との間で本の内容が話題に上る環境、また、児童が傍らに本を置き、すき間の時間等ですぐに本の世界に入っていけるような環境づくりに、教員間で共通理解、試行錯誤を重ねながら、粘り強く当たっていく。 |
| 人<br>間<br>関<br>係<br>力<br>の<br>育<br>成                                                                                                                                                                                                                              | ・自分を大切に<br>し、他の人も大切に<br>思いやる児童を<br>育成する。      | ・「西東京市子ども条例」や学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止に取り組む。                                           | 95%               | 91%              | 今年度も「学校いじめ基本方針」については、1学期の保護者会で、全学年で内容の説明を行った。繰り返し伝えている成果が上がり、保護者への周知は進んできている。今後も保護者の相談に丁寧かつ迅速に対応し、いじめの早期対応を心掛ける。                                                                                               |
|                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                               | ・学校では決まりにそったけじめある生活が送れるよう指導していく。                                                   | 97%               | 97%              | おおむね学校ではけじめのある生活が送れている。今後も全校朝会や学級指導において、けやき小のきまりや月目標を示して意識させる機会を設定し指導していく。                                                                                                                                     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                               | ・気持ちのよい挨拶ができるよう挨拶を励行する。                                                            | 84%               | 81%              | 「子どもは気持ちのよい挨拶ができる」と肯定的に感じている保護者が多い。子どもたちが学校内外においても、気持ちのよい挨拶ができるよう引き続き道徳や学級指導で挨拶の大切さを子どもたちに考えさせ、実践させていきたい。                                                                                                      |
| 健<br>康<br>で<br>た<br>く<br>ま<br>し<br>い<br>子<br>の<br>育<br>成                                                                                                                                                                                                          | ・規則正しく生活し、たくましく健やかな児童を育成する。                   | ・家庭と連携しながら「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的生活習慣の定着を図ったり、運動の習慣の定着を図ったりできるよう工夫していく。                 | 86%               | 86%              | 夏季休業中に全児童を対象に行った「もぐもぐ・すやすや・びかびかカード」の取り組みを通して、生活習慣の意識向上に繋がった家庭が多かった。運動の習慣の定着を図るため、体育の年間指導計画を見直し、6年間の見直しをもつこと、系統性を意識することを重点におき、指導にあたっている。また、年間を通しての運動週間「長縄、短縄、持久走」の取り組みも継続して行い、様々な運動経験をさせたり、運動の継続を意識させたりしていく。    |
|                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                               | ・児童の特性や実態に即した指導、特別支援教育に対する児童、保護者、地域の理解・啓発を図る。                                      | 97%               | 82%              | 校内委員会のメンバーを中心に、児童の情報交換を密にすることで、配慮・支援の必要な児童に対して、組織的な対応を行っている。継続していく。                                                                                                                                            |
| 働<br>き<br>方<br>改<br>革                                                                                                                                                                                                                                             | ・業務の精選及び見直しを図るとともに、教師が意欲と余裕をもって授業に臨める時間を創り出す。 | ・教職員は丁寧に対応し、誠実に相談等に応じるよう心掛ける。                                                      | 100%              | 96%              | 保護者からの評価、教職員の評価ともに肯定的回答が90%を超えていた。これからも児童の成長を願い、協力して学校教育を行っていくように心掛けていきたい。                                                                                                                                     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                               | ・教員は授業や教材の工夫をして、日々の授業の充実に努めていく。                                                    | 100%              | 97%              | 保護者からの評価、教職員の評価ともに肯定的回答が90%を超えていた。授業は学校生活の中心であり、子どもたちの意欲が継続していくことができるように授業や教材の工夫は大切であるととらえ、これからも授業の充実に努めていくようにしたい。                                                                                             |
| 信<br>頼<br>さ<br>れ<br>る<br>学<br>校                                                                                                                                                                                                                                   | ・学校の安心と安全を確保し、児童・保護者・地域の相談に誠意をもって対応する。        | ・日常的に施設や設備の安全対策や事故防止を適切に行い、より現実的な状況下での避難訓練を実施する。                                   | 100%              | 97%              | 「学校施設・設備の安全対策や事故防止、避難訓練に取り組んでいる」という項目において、保護者からの肯定的回答は97%であった。今後も安全な環境の中で教育活動ができるよう、安全対策や避難訓練をにしっかり取り組んでいく。                                                                                                    |
|                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                               | ・地域、学校運営協議会と連携し、学校関係者評価の実施・公開、教育方針や日常の様子等を学校だより、学年だより、学級だより、ホームページなどにより適切に情報発信をする。 | 100%              | 97%              | 「学校は地域と連携し、教育方針や日常の様子等を『すぐる』、ホームページなどにより情報配信をしている」という項目において、保護者からの肯定的回答は97%であった。今後も、地域と保護者との連携を図るとともに、そのために、日常の様子等を適切に配信・発信することを心掛けていく。                                                                        |

## 教育相談日について

＜12月18日(木)・19日(金)・22日(月)・23日(火) 13:30～15:30＞

今年度から、お子さんの学校生活に関するご相談の日として、「教育相談日」を設けました。相談は担任が中心となって行います。希望する方は、12月11日(木)までに連絡帳等で、希望日時、相談内容などをお知らせください。また、担任の方から相談を呼びかける場合もありますのでご承知おきください。

## 読書活動について

けやき小学校では、6月と10月に2週間ずつ読書週間に取り組んでいます。保護者ボランティアによる読み聞かせ、先生のおすすめ本の紹介掲示や学年をまたいだ先生による読み聞かせ（ドキドキ読み聞かせ）に取り組みました。図書委員会でも、読書活動が活発になる取り組みを企画し、取り組みました。10月の読書週間では、「本の内容クイズ」と「本のおみくじ」をしました。図書館は子どもたちで賑わっていました。

また日頃より読書の記録に、読破した本を記録し、低学年は100冊、中学年は80冊、高学年は60冊と目標を決め取り組んでいます。目標を達成した人は、休み時間に校長室で表彰式を行っています。前期の終わりには、朝会で前期に目標達成した人をステージに呼び、全校児童に称賛しました。

小学生で読書習慣を身に付けるための活動を今後もしていきます。

## いよいよ運動会

秋も深まり涼しい日が増え、校庭からは元気な声が飛び交い、外で遊ぶ子どもも増えてきたように感じます。11月にはいよいよ待ちに待った運動会です。アリーナ、校庭、学年フロアからは休み時間にも表現運動の音楽や子どもたちの掛け声が響き渡っています。よりよい運動会にしようとの学年も練習に励んでいます。また、昇降口には運動会のカウントダウン、校舎内には運動会に関連したポスター、給食の放送でも運動会に関わる内容の放送と学校は運動会ムード一色となっております。

けやき小学校では最高学年である6年生が中心となって運動会を支えています。準備、整理運動は「楽しく体も心もほぐそう」を目標に曲選びを行ったり、体をほぐす動きを考えたりしました。全校に周知するために各学級に動画を共有したり、休み時間にアリーナで教えたりしています。また、スローガンの垂れ幕の作成、当日には各演目の紹介、1～3年生のお世話、用具の準備・片付け、大玉送りの走者、選手宣誓、スローガン発表、代表の言葉など様々な場面で運動会を支えてくれます。そんな姿も是非ご覧いただけたらと思います。

よりよい運動会に向けて各学年や委員会が前向きに取り組んでいます。当日は、温かいご声援をよろしくお願いします。

## 音楽会のみどころ

運動会モード一色の中、着々と音楽会に向けての準備が進んでいます。ご家庭におかれましても、音楽会に向けてのご準備や温かいご支援をいただきありがとうございます。

早い学年では、夏休み前から少しずつ音楽会の楽曲に取り組んできました。その中で感じることは、「行事を通して子どもたちが大きく成長する」ということです。オーディションで悔しい思いをした子どもたちもいます。しかし、その気持ちを糧に頑張る姿や、自分が合奏の一部だと実感できた瞬間の笑顔は、子どもたちが大きく成長した証です。音楽が苦手、歌うのは恥ずかしいなど、いろいろな思いをもちながらも、一人ひとりが自分なりに一生懸命取り組むことで、合奏や合唱が少しずつ形になってきています。

音楽会では、どのパートもなくてはならない大切なパートであり、一人ひとりが主役です。“競争”ではなく“協奏”を。友達とひとつの音楽を創り上げる喜びを感じながら、立派にステージに立つ子どもたちの姿をぜひご覧いただけたらと思います。